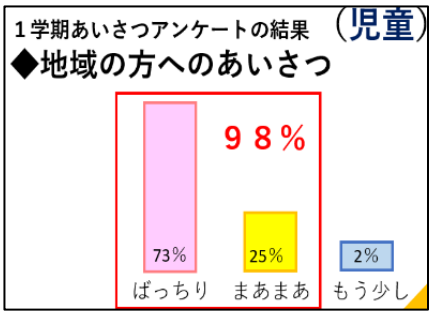
みちした

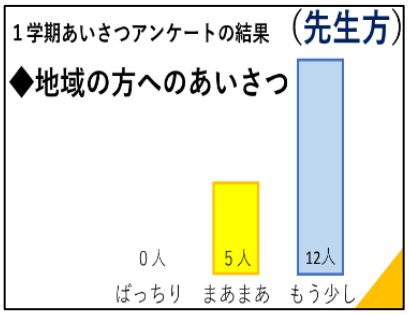
令和５年１２月１９日
魚津市立道下小学校

「　子供がよりよい学校をつくる　」　　校長　弥生　陽子

先週のことです。朝、子供たちの登校を見守るため学校周辺を歩いていると、道下パトロール隊の方から声をかけられました。「校長先生、子供たちの挨拶がうれしいですね。子供たちからお辞儀することも教わりましたよ。」と。

始まりは、企画委員会の子供たちからの提案でした。１０月より各学級のボランティアとともに朝の挨拶運動をしていました。たくさんの人が参加して、元気な雰囲気はあるのですが、自分の学年の人以外だと声が小さかったり、ふざけていたりで企画委員会の子供たちは残念な気持ちになったそうです。そこで、緊急集会を開いて全校にアンケート結果と実態から垣間見られる問題点を示しました。一部を紹介します。





あいさつ全体について（企画委員）
△地域の方へのあいさつが少ない。元気がない。
△先生がいない場所だとあいさつができない。（お客さんなど）
△登校班の人にまったくあいさつできていない。
△おはようございます　→返せる
　いってらっしゃい　→・・・

みんなの中には、挨拶することが恥ずかしいと思う人やなかなか勇気が出ないという人もいることを考えて右のように提案しました。

気持ちが伝わるあいさつをしよう！
ポイント
１　相手の目を見る
２　相手に聞こえる声の大きさ
３　おじぎをする
４　遠くから１回、近くで１回

子供が自分事として問題を見いだし、その解決に向け動き出した時間となりました。大人から言われてではなく、一人一人が自分にできそうなことに取り組んでいってくれることを期待します。よりよい学校を目指して、自分たちで学校・学級をつくっていくからこそ、そこが子供たちにとって居場所となるのです。

保護者の皆様、２学期も学校教育にご理解とご協力、ありがとうございました。
旗当番や様々な行事へのご支援に深く感謝しています。また、ご多用の中、個別懇談会に来校くださりありがとうございました。
いよいよ子供たちが楽しみにしている冬休みです。２学期の成長を共に喜び、家族の触れ合いを深め、よい年をお迎えください。